

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業の概要

事業名	一般国道191号（山陰自動車道） おおい はぎ 大井・萩道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：山口県萩市椿 至：山口県萩市大井	延長	11.1km		
事業概要	<p>一般国道191号は山口県下関市から萩市、島根県益田市を経由し広島県広島市に至る延長約291kmの主要幹線道路である。</p> <p>大井・萩道路は一般国道191号の萩市椿～萩市大井に至る延長11.1kmの道路である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>一般国道191号大井・萩道路は、災害等による通行止め時に機能する道路ネットワークの確保、安全性・走行性の向上、高次救急医療機関への速達性・確実性の確保、観光振興の促進等に寄与するものである。</p>				
全体事業費	約660億円	計画交通量	12,500～13,800台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見	<p>「一般国道191号大井・萩道路」を予算化することについて同意します。</p> <p>当該道路は、荒天時の通行規制や線形不良、幅員狭小に起因した事故に伴う通行規制など、現道が抱える課題を解消するとともに、山陰道の一部区間として、地域の多様な資源を有効に活用した産業・観光の振興や、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築による国土強靱化を推進する上で、重要な基盤であり、その早期整備が不可欠です。</p> <p>山口県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元萩市と連携して、地元との調整や用地取得への協力など、事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めるとともに、地域の利便性の向上などに繋がるよう、アクセス道路の整備に取り組んでまいります。</p> <p>さらには、島根県や沿線市町と一体となって、山陰道整備後を見越した広域的な観光や産業の振興を推進してまいります。</p> <p>国においては、山陰道全線の早期完成に向け、引き続き、事業中区間の整備促進及び未着手区間の早期事業化を図られるようお願いいたします。</p>
----------------	--

学識経験者等の第三者委員会の意見	<p>・新規事業化については妥当である。</p>
------------------	--------------------------

事業採択の前提条件	<p>費用便益：便益が費用を上回っている。</p> <p>手続き等：計画段階評価手続き完了（H31.1.24）、都市計画決定手続き完了（R3.2.12）</p>
-----------	--

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.3 (1.1)	総費用 2,101億円 (事業費：1,902億円 維持管理費：198億円)	総便益 2,787億円 (走行時間短縮便益：2,259億円 走行経費減少便益：417億円 交通事故減少便益：111億円)	基準年 令和2年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 1.1 (交通量 -10%)	B/C= 1.5 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C= 1.2 (事業費 +10%)	B/C= 1.5 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C= 1.2 (事業期間 +20%)	B/C= 1.4 (事業期間 -20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 萩市街地は信号交差点が連続しており、GW等の観光シーズンには交通集中により速度低下が発生。 主要渋滞箇所「萩警察署前交差点」が存在しており、交通の円滑化が必要。 当該区間の整備により、通過交通が現道からバイパスへ転換し、渋滞の緩和が期待される。 <p>【対象区間の通過交通（萩市役所～益田市役所）】 現況：83分 → 整備後：77分（約6分短縮）</p>	
		事故対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 人家連担区間や交差点部などにおいて、死傷事故率が全国平均を上回る箇所が連続して存在。 混在していた生活交通と通過交通が分離され、安全で円滑な走行環境が形成される。 	
		歩行空間	-	注目すべき影響はない。	
	社会全体への影響	住民生活	◎	<ul style="list-style-type: none"> 高次救急医療機関のない阿武町では、重篤患者の救急搬送を萩市内の二次救急医療機関に依存しているが、交通課題のある国道191号を通過せざるを得ない状況。 当該区間の整備により、現道課題箇所を回避し、高次救急医療機関への搬送30分圏域の拡大。 <p>【救急搬送時に通過する線形の厳しい箇所】 現況：20箇所 → 整備後：0箇所</p> <p>【阿武町における搬送30分圏域の割合】 現況：71% → 整備後：82%</p>	
		地域経済	◎	<ul style="list-style-type: none"> 時間短縮、定時性の確保などにより、新たな企業誘致の促進と雇用の確保が期待される。 豊富な農水産品の出荷経路として、速達性の高い輸送道路ネットワークの形成が図られ、時間短縮、定時性確保などにより産業振興が期待される。 	
		災害	◎	<ul style="list-style-type: none"> 国道191号（山口県萩市椿～萩市大井）は急峻な山地と海岸に挟まれ、越波区間や防災点検要対策箇所、洪水時浸水想定区域が存在し、越波や土砂災害による通行規制が発生。 危険箇所の回避により、災害時の交通障害や道路寸断による広域迂回を解消。 <p>【萩市役所～阿武町役場の広域迂回（災害時）】 現況：78分 → 整備後：21分（約57分短縮）</p>	
		環境	-	注目すべき影響はない。	
	地域社会	◎	<ul style="list-style-type: none"> 萩市には5つの世界文化遺産などの観光地が点在。 山口県と島根県は、萩市、益田市及び津和野町の連携による広域周遊観光の促進に取り組んでいるが、都市間（観光地間）に速達性のある道路ネットワークが未確保であり、観光客の周遊範囲は拡大していない。 当該道路の整備により、周遊観光ネットワークが形成され、アクセス性が向上。 <p>【萩市役所～益田市役所の移動時間の短縮】 現況：83分 → 整備後：77分（約6分短縮）</p>		
事業実施環境	◎	山口県知事、島根県知事等より早期事業化を要望			

採択の理由

費用便益比が1.3と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。

また、当該区間の整備により、災害等による通行止め時に機能する道路ネットワークの確保、安全性・走行性の向上、交通の円滑化、産業の活性化、観光振興の促進、高次救急医療機関への速達性・確実性の向上が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※B/Cの上段の値は浜田JCT～小月JCT（仮称）を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
災害等による通行止め時に機能する道路ネットワークの確保や高次救急医療機関への速達性や確実性の向上、周辺の観光地へのアクセス性向上により、観光振興に寄与するものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は、急峻な山地と海岸に挟まれ、越波区間や防災点検要対策箇所（11箇所）、洪水時浸水想定区域など、脆弱な区間が存在。 災害等による通行止め時には大幅な迂回を強いられるため、地域への緊急物資の円滑な輸送に支障となる恐れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ※中国圏広域地方計画（H28.3） <ul style="list-style-type: none"> 大規模地震災害に対し、圏域内の道路・橋りょうや港湾施設等の社会資本の耐震化を強力に進め、強靱な交通・物流ルートを形成する。 ※山口県国土強靱化地域計画（R2.3改訂） <ul style="list-style-type: none"> 災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築するため、地域の課題や利用者ニーズを踏まえながら、山陰道や下関北九州道路など、規格の高い道路をはじめとした幹線道路や、身近な生活道路の整備を推進する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> 高次救急医療機関が存在しない阿武町では、萩市内の病院への搬送が年間122件あり、搬送時間の速達性及び確実性の向上が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ※中国圏広域地方計画（H28.3） <ul style="list-style-type: none"> 高次医療施設へのアクセス向上に資する道路の整備を図るとともに、ドクターヘリの導入による救急対応等、広域連携による医療機能の充実を図る。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> 萩市は世界遺産など主要な観光地を有するが、アクセス性が悪いことから萩・石見空港利用による来訪者が少ない。 山口県と島根県は、萩市及び、益田市、津和野町の連携による広域周遊観光の促進に取り組んでいるが、都市間（観光地間）に速達性のある道路ネットワークが整備されていないため、観光客の周遊範囲は拡大していない状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ※中国圏広域地方計画（H28.3） <ul style="list-style-type: none"> 山陰道や小郡萩道路といった高規格幹線道路等の道路ネットワーク、旅客船・フェリー等の航路等、広域観光を支える交通ネットワークの活用・強化を図る。 LCC32やチャーター便誘致を含めた国際航空路線の拡充・充実を図るとともに、空港の機能強化に向け、必要な整備・充実を推進する。港湾や空港と圏域内外の各地域を連絡する幹線道路の整備を推進する。
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> 当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価はCランクのままであるものの、脆弱度、累積脆弱度の値は改善される。 また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークが形成されるとともに、救急医療活動や観光振興、経済活動の活性化に寄与するなど有効性の高い事業と評価する。 									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度の 変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	萩・石見 空港	萩土木建築 事務所	23 (4)	0.92 (C) 〔0.93〕 (C)	0.38 (C) 〔0.93〕 (C)	▲202.61 (▲13.54)	0.08 (0.06)	0.70 (0.00)	○

事業の効率性									
<ul style="list-style-type: none"> 計画段階評価手続き完了（H31.1.24）、都市計画決定手続き完了（R3.2.12） 									

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、浜田JCT～小月JCT（仮称）を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。